

# 観光列車の導入について

～ しなの鉄道は地域とともに地域の元気を創ります ～

## 1. 観光列車導入の背景

### (1) 現 状

- ▶ 輸送人員の減少傾向と老朽化が進む施設・設備の更新経費の増加
- ▶ 北しなの線開業に向け、経営基盤や営業力の強化が急務

### (2) 課 題

- ▶ 輸送人員の確保に向けた県内外の旅客の取り込みの強化
- ▶ 旅行スタイルなど観光ニーズの多様化を踏まえた対応の推進
- ▶ 少子高齢化の進展に伴い増加する元気なシニア層の取り込み

## 2. 新たな営業戦略の展開

### (1) 基 本 方 針 《観光列車の導入》

内外の環境変化に対応し、新たな旅客需要を創造するとともに、しなの鉄道の利用促進と沿線地域の活性化を図るため、斬新で付加価値の高いデザイン車両を導入し、観光列車として運行します。

### (2) 観光列車導入に当たっての基本的視点

#### ① 「列車自体が観光地」

列車を単なる移動ツールとしてだけでなく、それ自体を非日常性に満ちた楽しい空間とし、目的観光地との相乗効果を高めます。

#### ② 「地域といっしょに、地域の元気の起爆剤」

列車運行に当たっては、地域と一緒にあって、沿線の様々な観光資源等と連携した取組みを展開し、観光列車の魅力を高めるとともに、地域の活性化につなげます。

### 3. 導入する観光列車

#### (1) 列車コンセプト

##### 『しなの鉄道沿線地域の魅力満載列車』

県産材をふんだんに使った快適でぬくもりのあるラウンジ風の空間で、軽井沢から長野に至るしなの鉄道沿線地域の特色ある景観、歴史・文化、食などを満喫していただく旅を提供します。

#### (2) 観光列車の造成

- 改造車両 ・ 現有の 115 系 3 両（1 編成） / 定員 100 名（席）程度（予定）
- デザインイメージ ・ 子どもやシニアを含めたファミリーがゆったりと楽しく過ごせる空間
- 県産材の使用 ・ 車両の床、家具等に長野県産木材を使用し、「走る広告塔」として県産木材製品の良さをPRすることにより、信州ブランドとしての長野県産木材製品の普及に貢献

#### (3) 観光列車の運行（予定）

- 運行開始時期 ・ 平成 26 年夏を予定（決定次第あらためてお知らせします。）
- 基本運行形態
  - ① 週末及び夏休み等の定期観光列車
  - ② 団体貸切列車
  - ③ 地域等の企画列車
- 運行区間 ・ 軽井沢～長野
- 運行日 ・ 土・休日、夏（冬、春）休み、年末年始等 計 180 日程度
- 車内サービス体制 ・ 客室乗務員が乗車し、旅客案内及び物販等を実施
- 地域との連携
  - ① 地域の食材を積極的に使った食事サービスを提供
  - ② 季節に応じて駅に停車時間を設け、地域の観光資源等と連携したサービスを提供
  - ③ 列車内に地域PRコーナー等を設置して、地域の観光資源等のアピールや地域特産物の販売等を実施（上記の具体案の策定に向けて、沿線地域との協議を開始）

#### 《期待される効果》

1. 地域の活性化（元氣）に貢献
2. しなの鉄道の利用促進
3. 県産木材の使用・アピール等を通じて信州ブランド戦略に貢献

### 4. 今後のスケジュール

- ▶ 平成 25 年 8 月 観光列車の導入決定（27 日 取締役会）
- ▶ 〃 10 月～ 車両改造に係るデザイン・設計等に着手
- ▶ 平成 26 年 3 月 料金の決定、発表
- ▶ 〃 4 月～ 予約開始
- ▶ 〃 夏～ 運行開始